



市政同志会
帰山 明朗 議員

市内小・中学校敷地内の危険ブロック塀の安全対策について

問 大阪北部地震ではブロック塀が崩壊し悲しい死亡事故が発生した。市内の小・中学校敷地内の危険ブロック塀の現状とその対応は。

答 緊急安全点検を実施した結果、市内の4小学校に基準不適合となる危険箇所があり、現在、張り紙やカラーコーンを設置して注意喚起を行っている。特に緊急性の高い箇所は9月補正予算に計上し、改修する。引き続きブロック塀を使用する場合は、鉄筋量調査を

施し必要な補強や改修を行う。

問 通学路の危険ブロック塀の現状と対策は。

答 教育長 7月に教職員で、8月に教育委員会と市担当課の合同で危険箇所計62カ所の点検を実施。そのうち、判断が難しいもの14カ所は、9月中旬に丹南土木事務所の専門資格者の再点検を実施し同事務所が所有者に対し注意表示、補修、撤去など必要な措置を講じるよう指導、助言する。また危険性がそれほど高くないが補修や注意表示が必要な塀10カ所は、各学校から、学

校・教育委員会などの連名で9月21日までに所有者に点検結果を通知し対応を依頼。また一部では通学路変更での対応も検討する。そのほか、塀が倒れてきても児童・生徒が安全な場所に身を寄せることができるかと判断した箇所は、学校が児童・生徒に回避方法などを指導し対応したい。

要望 民有地、特に空き家のブロック塀に対応を求めるのは困難だが、安全確保のため、学校、教育委員会、県と連携し、区長や地域の方々にもご理解と協力添えをお願いし早急に対応されたい。

北陸新幹線について

問 市民の利便性確保やまちづくりのため、8号線側に改札を整備すべきでは。その費用と可能性は。

答 8号線側に改札を整備するためには、3番線の線路をまたぐ跨線橋等を整備する必要があり。加えて自動改札装置やICカードを読み取る装置が必要となる。詳細な金額は算定できないが、参考として、平成27年に完成したJR鯖江駅のエレベーター整備事業費が約2億3千万円。また、駅舎橋上化を行った岡



市民創世会
石川 修 議員

山県の備中高梁駅を参考とすると、総事業費11億円のうち駅舎の改装に約4億円となっている。御提案の新たな改札の整備は、駅舎利便性向上策の一つとして十分考えられる。ただ大きな費用がかかる事業で、費用対効果を考慮する中で判断が必要となる。

雪害対策について

問 県への重要要望として西縦貫線の融雪装置整備を出しているがその進捗状況は。

答 西縦貫線は昨年度から福井鯖江線が、全て県管理の道路とな

った。2月の大雪の際には、交通量が多いことから除雪作業が思うように進まず、交通に大変支障があり、市としても、冬季の安全な通行を確保するための融雪設備の整備は必要であると考えている。現在この路線で消雪設備が整備されている区間は、福井市から鯖江市境までと、もともと県道であった丸山3丁目の木々亭南交差点から南へ糺町のかつき呉服店の交差点までの区間である。市では、重要要望としてこの間の抜けている区間、福井市境から木々亭の南交差点まで融雪装置の早期着工について要望した。